

粗あらっ
ぽさ

美
しい、

優
雅で、

優
美で、

Madhhat Kakei

作品：制作年不明
ミクストメディア、紙 94.0×40.5cm

マドハット・カケイ展

2023|9|5火 - 10|9月祝 **観覧無料**

9:00-21:00 <月曜、9/19・26休館>

砂丘館

Madhat Kakei

乾いた土と湿った空気と

マドハット・カケイは新潟絵屋で過去3回(2002, 07,13年)個展をし、2002年と2012年に新潟に来ている。「1954年イラクのキルクーク生まれ。バグダッドとマドリードの美術学校に学ぶ。イラン・イラク戦争の最中、軍から山岳地帯に逃れ、のちスウェーデンに滞在し、同国市民権を獲得」というのがその時の案内状に書いた彼の経歴で(一部修正した)、かなり長期に彼と時を過ごしたにもかかわらず、私が彼の数奇と言ってもいいであろう過去について知っているのは今もそれ以上ではない。イランについても、イラクについても、クルドの人々についても、私が持っているのは初歩的ですらない程度の知識だから、質問が浮かばないということもあったし、彼自身も過去を、そんな私に積極的に話したくないふうでもあった。その私が彼の展示を企画したのは、やはり絵が魅力的だったからだ。

彼の初期の木版画「クルディスタン」を時々砂丘館に飾りながら、彼がいつか映像で見せてくれた、そして近年の彼がフェイスブックにしばしば写真や動画を紹介している、乾いた空気と白っぽいベージュ色の土で覆われた土地をぼんやり想像したりする。

ストックホルムのマドハットから、新潟でいつ自分の展示をするのかと、去年問い合わせがあった。マドハットは1986年に初めて日本に来て千葉市の一角に仕事場兼住まいを得て、制作をし、その間に洲之内徹、針生一郎などの美術評論家と出会い、洲之内の「きまぐれ美術館」でモハメッド・M・アリという以前の名で紹介されたこともある。その千葉に、今も襖に描いた絵がたくさん置いてあるという話を以前聞き、ぜひ新潟で並べてみたいと私が言ったのを覚えていたのだ。

2000年代になってからの、いろんな色を厚く重ねながらも、その最上層一色だけに塗られた壁のような画面に変化する以前の彼の絵は、なんとも優美で、粗っぽい太い線や細い線、そして鮮やかな中間色ともいべき美しい色を使い、主に女たちを要のモチーフにした、木版画的なモノクロームの世界と、彩色画の世界が併存するような独特の画面が、体をくすぐる香りに似た魅力を放っていた。私の知らない乾いたクルディスタンの土と、竹林に囲まれた彼の千葉の家の湿潤な空気が、混ざり合ったようなそれらの絵は、何度見ても、やはりはっとさせられる。

見るもの、聞くもの、味わうものすべてに彼が示す反応も、恐ろしいほど率直で、フーテンの寅さんのような愛嬌があって、笑いと、微笑みと、緊張を感じさせる。以前の絵にも、今の壁のような絵にも、彼の人間とこれまでの人生の時間が反映し、明滅しているのは確かだ。

言葉では詳しく聞けないことを、私は、そんな絵たちから聞いていたのかも知れない。

大倉 宏(砂丘館館長)

Madhat Kakei(マドハット・カケイ) / 1954年イラク・キルクーク生まれ。バグダッドとマドリードのサン・フェルナンド美術学校に学ぶ。イラン・イラク戦争の最中、軍から山岳地帯に逃れ、のちスウェーデンに滞在し、同国市民権を獲得。86年の初来日後、千葉とストックホルムとパリのアトリエで制作。アラビアンネームの「モハメッド・M・アリ」名で発表していたが、現在はクルド人の宗教であるゾロアスター教の信仰者に多いカケイに名を変えている。2002.07.13年新潟絵屋で個展。



制作年不明 ミクストメディア、紙 94.0×30.0cm

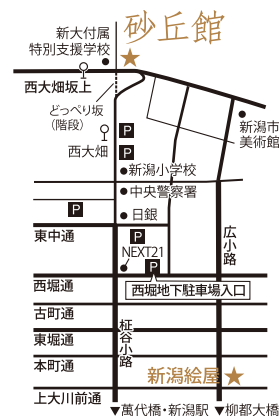
ギャラリートーク | 9/9(土) 14:00-15:30

マドハット・カケイ / 通訳: 藤原祥(画家・友人) / 聞き手: 大倉宏(砂丘館館長)

定員30名 / 参加料500円 / 申込不要・直接会場へ

同時期開催 マドハット・カケイ展 2023/9/16(土) - 29(金) 11:00-18:00(最終日17:00)

会場: 新潟絵屋(観覧無料) 新潟市中央区上大川前通10-1864 tel・fax 025-222-6888 <http://niiyata-eya.jp/>



主催: 砂丘館 協力: ギャラリー陸

新潟市中央区西大畑町5218-1 tel.025-222-2676

sakyukan@bz03.plala.or.jp <http://www.sakyukan.jp/>

新潟駅万代口より浜浦町線C2系統 又は 観光循環バス「西大畑坂上」下車徒歩1分

砂丘館には駐車場がありません。周辺の道路は駐車禁止です。公共交通機関をご利用ください。

新潟市西堀地下駐車場をご利用の方は駐車券提示にて1時間分の無料券を差し上げます。

(指定管理者: 新潟絵屋・新潟ビルサービス特定共同企業体)

〈私たちは砂丘館を応援しています〉

新潟あられ株式会社 NSGグループ 新潟ビルサービス 丸屋本店 藤田金属 WIND 郷土の文化に親しむ会 書齋gallery 片桐奈保美 田中太一